
ポスター

[PO-1～8、P-1～16] ポスター立会

2019年6月7日(金) 15:00 ～ 16:00 ポスター会場 (熊本市民会館 2F ホワイエ)

[P-1] 医療安全研修会を動画配信し、研修会受講率を大幅に改善した取り組み

神原 勝己 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院)

医療安全研修会を動画配信し、 研修会受講率を大幅に改善した取り組み

*¹神原勝己 *²石井 博 *³木村好子 *²常光謙輔 *⁴長櫓巧 *⁵岡田眞一
*¹済生会西条病院 医療秘書課 *²同・外科 *³看護師 元 同・医療安全管理室
*⁴同・ペインクリニック外科 *⁵同・内科

当院では予めから安心・安全な医療の提供、職員の医療安全意識向上を目的に、年間6回の医療安全研修会を開催してきた。研修会は終業後、17時20分から約30分間開催し、全職員へ受講を促している。しかし、勤務、家事、休暇等の都合で参加できない職員もあり、平成27年度の研修会受講率は平均48.5%であった。全職員が医療安全研修を受講するよう厚生支局から指摘があり、研修会を動画配信し、職員がスマートフォンやパソコンで視聴、受講できるよう改善した。結果、動画配信を開始した平成28年度には、研修会受講率を99.5%に改善させることに成功した。

キーワード 医療安全 研修 動画配信 働き方改革

1. はじめに

済生会西条病院は、愛媛県東部の工都・西条市にある150床の急性期病院である。済生会西条病院では、330名の全職員を対象に年間6回の医療安全研修会を開催している。研修内容は、感染対策、画像検査、輸血管理、医療機器管理、薬剤の取り扱い等について、それぞれを専門とするスタッフが終業後、約30分間、講堂でプレゼンテーションソフトを使用し職員へ研修を行っている。研修会を欠席した職員に対しては後日、プレゼンテーションを印刷したプリントを配布し、確認のサインをさせることで各々研修したものとしてきた。

平成27年度の医療安全研修会受講率は48.5%であり、厚生支局の監査で、全職員が医療安全研修を受講するよう指摘があった。しかし、勤務時間中で参加できない職員もあり、同じ研修会を複数回開催し受講率を上げることも検討したが、会場確保や講師負担もあり、これ以上受講率を上げることは困難と思われた。そこで研修会の様子を動画配信し、職員がいつでも研修会を視聴し、受講できるよう改善を試みた。

2. 方法

医療安全研修会をビデオカメラで撮影し、その動画をYouTubeと院内のイントラネットで限定公開した(写真1)。

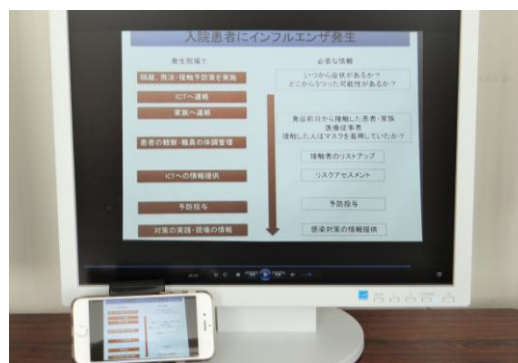


写真1 医療安全研修会動画、再生の様子

動画を視聴した職員と、会場で実際に研修を受講した職員は、研修内容に関する問題が記されたアンケート用紙(図1)に解答する。動画視聴者は、さらにレポートも記述するようにした。

図1 アンケート用紙

問題に解答したアンケート用紙(図1)を研修終了後と、動画視聴後に提出し(動画視聴者はレポートも提出), 研修会を受講したものとした。

動画の公開範囲については, 研修会で使用するスライドの著作権や研修を行う職員のプライバシーに配慮し, 部外者が視聴できない限定公開とした。限定公開動画へのアクセス用のアドレスはQRコードに変換し, スマートフォンのカメラで簡単に動画へアクセスできるようにした(図2)。

出来るだけ既存の機材や利用料のかからないサービスを利用し, 極力経費をかけないことも目的とした。

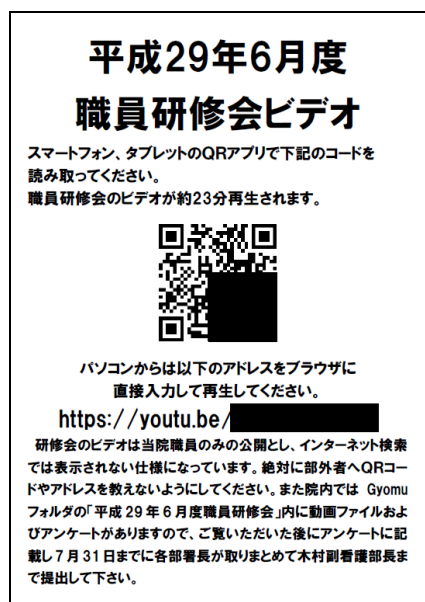


図2 研修会動画配信の告知文書(一部加工)

3. 結果

医療安全研修会を既存の機材や YouTube のサービスを利用, 経費をほぼかけずに動画配信し, 平成28年度は研修会受講率を99.5%まで改善させることに成功した。

4. 考察

アンケート用紙の問題正答率を, 平成28年6月の動画配信開始から, 平成30年9月の研修まで調べた結果, 動画視聴者と会場受講者の正答率には相似がみられ(図3), 動画視聴であっても, 会場受講者とはほぼ同じ研修効果があると考えられた。

図3 受講率, 動画視聴率, 正答率の推移

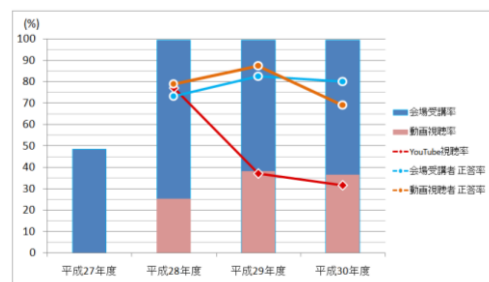


表1 受講率, 動画視聴率, 正答率の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全体受講率 (%)	48.58	99.57	96.75	97.40
会場受講率 (%)	48.58	74.19	61.42	62.90
動画視聴率 (%)		25.37	35.33	34.50
うちYouTube視聴率 (%)		77.00	37.05	31.59
会場受講者 正答率 (%)		73.15	82.48	80.11
動画視聴者 正答率 (%)		78.90	87.40	69.13

動画配信を開始した平成28年度と平成29年度の動画視聴者の問題正答率は, 会場受講者よりも高い結果が出た。これは動画で何度も, 繰り返し研修内容を視聴できたためと考えられた。

動画視聴者のうち YouTube の視聴者率 (YouTube 動画再生回数 ÷ 動画視聴者アンケート提出数 × 100) は 77%であった。その後, 徐々に低下しており, 開始3年目には YouTube 視聴者率は 31.6%まで低下した。一方で正答率の相似に大きな変化は見られなかったため, YouTube ではなく, イン트라ネットの動画視聴にシフトし, 休憩や業務の合間に電子カルテ端末で視聴しているのではないかと考察した。問題用紙のフリーコメント欄には「スマートフォンでは小さい文字が読み辛い」との記載があり, ディスプレイサイズの大きな電子カルテ端末での視聴へシフトしている一因とも考えられた。

会場受講率は徐々に低下しているが, 正答率の相似, 全体受講率に大きな変化はなく, 動画視聴により, 職員が時間に縛られることなく研修ができていないのではないかと考えられる。

5. 結語

職員からは「時間や場所に縛られず, いつでも研修会を視聴, 受講でき便利だ」との声が聞かれた。働き方改革が叫ばれる昨今, 時間外研修会受講の負担を減らしつつ, 職員の医療安全意識の向上に役立てたのではないかと考える。